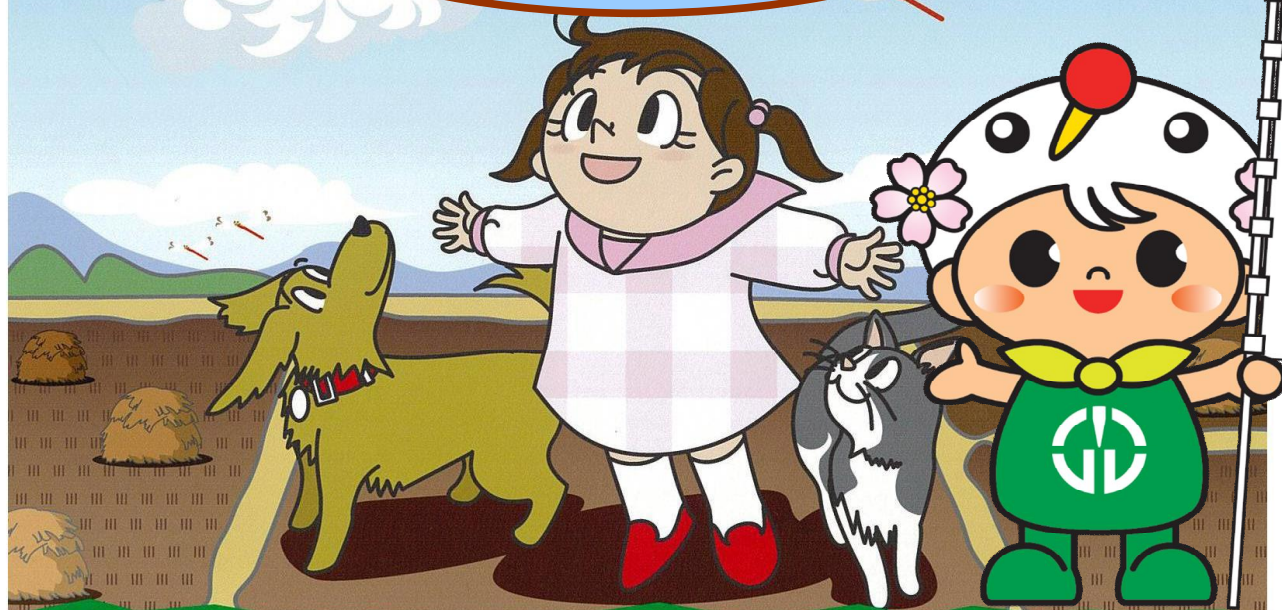


お願い! 稲わらを焼かないで!!

わら焼き シャットアウト!

稲わらは有効活用
しましょう!



わら焼きはみんなの迷惑! 稲わらは「土づくり」に活用してリサイクル。



鶴田町

「青森県稲わらの有効利用の促進及び焼却防止に関する条例」が平成22年6月に施行されました。稲わらを焼却処分せず有効利用することは「農業者の責務」です。

稲わらは、堆肥にしたり、すき込むなどして有効に活用しましょう!

水稻の出穂状況と刈取時期の予想

出穂状況

市町村	始 (月日)	盛期		終 (月日)
		(月日)	(平年差)	
鶴田町	7月24日	7月28日	早6日	7月31日

刈取時期の目安

刈り取りが遅れると、胴割れ・茶米・奇形粒などの発生が多くなります。
表を参考に、自分の水田の状況を見ながら、刈取時期を判断しましょう。

高温により、刈取適期は平年より大幅に早まる見込みです。刈り遅れは品質低下を助長するため、稲刈りの準備を早めに行い、適期内に収穫できるようにしましょう！

籾の黄化程度	①「まっしぐら」、「はれわたり」	ほ場全体の籾が、90%程度黄化した時期
	②「青天の霹靂」	ほ場全体の籾が、85%程度黄化した時期
枝梗の黄化程度	枝梗の2/3程度が黄化した時期	
青未熟粒の混入割合	青未熟粒の混入率(1.9mm選別、重量比)が、10%程度まで減少した時期	
籾水分	25～26%程度まで減少した時期	
出穂後積算気温※	青天の霹靂:900～1,100℃ まっしぐら:960～1,200℃ はれわたり:970～1,300℃	

※出穂後積算気温:出穂期の翌日から毎日の平均気温を積算した値

積算気温からみた刈取期間の目安

出穂期	7月24日	7月28日	7月31日	備 考
900℃	8月28日	9月2日	9月5日	「青天の霹靂」の始期
960℃	8月31日	9月4日	9月8日	「まっしぐら」の始期
970℃	8月31日	9月5日	9月8日	「はれわたり」の始期
1,100℃	9月5日	9月9日	9月13日	「青天の霹靂」の晩限
1,200℃	9月9日	9月14日	9月18日	「まっしぐら」の晩限
1,300℃	9月13日	9月19日	9月23日	「はれわたり」の晩限

8月12日までは本年値、それ以降は「平年値+2℃」を使用(五所川原アメダス)

稲わら有効利用で美味しい米を！

稲わらは貴重な有機質資源です。堆肥にするなど有効に利用しましょう。
稲わらをすき込んで地力を高め、高温に負けないイネをつくりましょう！

稲わらすき込み田の管理

- 初期生育は劣りますが、秋まさりの稲となります。
- すき込み時期は秋を基本とし、石灰窒素など腐熟促進剤を施用しましょう。
- 代かき時は水深を浅めにし、稲わらを土中に埋め込みましょう。
- ガスが発生しやすいので、生育状況と気象条件に応じた適正な水管理や、中干し・溝切りを行い、土に酸素を供給しましょう。
- 基肥窒素量の目安

稲わらすき込み状況	基肥窒素量の目安
連用2～3年目まで	慣行より5～10%増やす
連用3～4年目	慣行施用量と同量
連用4～5年目以降	慣行より5～10%減らす

農作業 焦らず、急がず、慎重に！